GAPの導入やもっと詳しく知りたい方は

ＧＡＰの導入については、最寄りのＪＡあるいは普及指導センターへご相談下さい

ＧＡＰの導入事例、ガイドラインや支援等に関する情報は、農林水産省のホームページでより詳しくご覧いただけます。

農水省　GAP　検索

農作業安全活動に役立つ情報は

農林水産省ホームページや（独）農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターのホームページ等をご覧ください。

農水省　農作業安全　検索

生研センター　農作業安全　検索

このパンフレットや農作業安全に関する問い合わせ先

農林水産省生産局 技術普及課
生産資材対策室　機械開発・安全指導班

〒１００－８９５０　東京都千代田区霞が関１－２－１
ＴＥＬ　０３－６７４４－２１１１

GAPで農作業安全

毎年、農作業中の事故により、

約400人が亡くなっています

みなさんが農作業事故で亡くなったり、けがで働けなくなったら、家族や周りの方々、田畑、産地はどうなってしまいますか？

安定した経営 と、

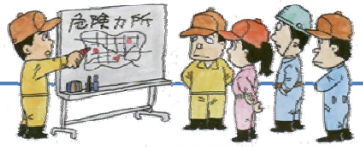
何よりも 家族の笑顔 を守るため、

GAPで農作業安全に取り組み、

事故を未然に防ぎましょう！

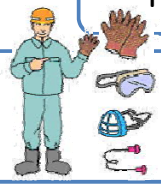
農林水産省

ＧＡＰにおける農作業安全に関する具体的な取組例



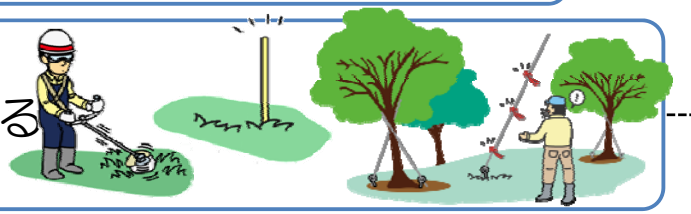
危険性の高い機械作業や危険箇所を把握する

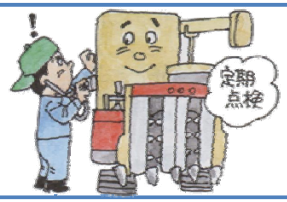
・飲酒後は機械作業や高所作業は行わない
・作業は計画的に行い、10時と15時に休憩する



・機械に巻き込まれない適切な服装で作業する
〔作業に応じ、保護メガネ、マスク、耳栓、ヘルメット、手袋等を着用〕

・路肩が分かるように、草刈りをしたり、目印を立てる
・危険箇所に目印を設置する





・シーズン前に、機械の取扱説明書を読み、使用方法や安全装置等を改めて確認する
・使用前後の点検と定期的な整備を行う

・道路走行時は左右ブレーキを連結するとともに、シートベルトを装着する
・作業機への詰まりを除去する際は、エンジンと作業機の停止を確認してから行う

・農薬をジュース等の容器に移し替えない
・農薬や燃料は専用の場所に施錠して保管する

・死亡やけがに備えた労災保険、第三者を巻き込んだ事故や自損事故等に備えた任意保険に加入する

どうして「GAPで農作業安全」？

GAPは農作業事故防止に役立ちます

事故が起きないようにするためには、一人ひとりが身の回りの危険を予め知り、当たり前のような作業でも安全確認することが大切です。

日頃の作業内容を点検・確認し、改善していくGAPの取組は事故防止に役立ちます。

※GAPのガイドライン

以下は、農林水産省がまとめた「GAPのガイドライン」のうち、労働安全（＝農作業安全）ついての取組事項です。

区　分	取組事項
危険作業等の把握	農業生産活動における危険な作業等の把握
農作業従事者の制限	機械作業、高所作業又は農薬散布作業等適切に実施しなければ危険を伴う作業の従事者などに対する制限
服装及び保護具の着用等	安全に作業を行うための服装や保護具の着用、保管
作業環境への対応	農作業事故につながる恐れのある作業環境の改善等による対応の実施
機械等の導入・点検・整備・管理	機械、装置、器具等の安全装備等の確認、使用前点検、使用後の整備及び適切な管理
機械等の利用	機械、装置、器具等の適正な使用
農薬・燃料等の管理	農薬、燃料等の適切な管理
事故後の備え	事故後の農業生産の維持・継続に向けた保険への加入

※正式名称
「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」
以下のホームページより入手できます。
http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html